

長崎県地域づくり推進課指定管理者選定委員会 議事要旨
(雲仙岳災害記念館関係事項)

1. 委員会の開催状況

第1回 令和5年9月4日(月) 11時00分～17時00分

2. 審議内容

(1) 委員長の選任

- ・委員の互選により、委員長が選任された。

(2) 審査方法の決定・審査基準の策定

- ・審査方法、審査基準の審議を行い、決定された。

(3) 応募者に対するヒアリング

①応募者からのプレゼンテーション

②質疑応答(主な質問は以下のとおり)

- ・シダックス大新東ヒューマンサービス(株)九州沖縄支店
常設展示の設置計画、収支計画の実現性、集客増加策の内容、他団体との連携手法の考え方などについて
- ・団体A
事業計画・収支計画の実現性、利用料金の設定の考え方、人員配置計画などについて

(4) 審査及び採点

①採点結果 別紙1のとおり

②指定管理者候補者の選定及びその理由

【候補者】

シダックス大新東ヒューマンサービス(株)九州沖縄支店

【選定理由】

- ・記念館の設置目的である雲仙・普賢岳噴火災害の脅威と教訓の伝承への取組と、経営を成り立たせるための利用促進策とのバランスの取れた計画となっている。
- ・全国で多くの指定管理を受託している実績から、記念館を運営するノウハウを有しており、自己資本、直近の損益、財務状況等から今後5年間の安定した管理運営が期待できる。
- ・提案内容等を踏まえ、事業計画書の管理運営方針や管理運営内容等の各項

目について採点を行い、総合計で7割を超える得点を獲得したことから、委員会として、シダックス大新東ヒューマンサービス（株）九州沖縄支店を指定管理者の第一順位候補者として選定した。

【意見】

- ・ 提案されている常設展示の溶岩ドーム（仮）については、建物の確認申請で県と協議・調整が必要であり、代替案も含め柔軟に対応する必要がある。
- ・ 集客について、県内、近県の団体と連携して教育旅行等の誘致活動に取り組んでいただきたい。
- ・ 世界ジオパークの中核的施設としての役割もあることから、火山・大自然の恩恵をもたらした島原半島の魅力の発信や災害の伝承を引き続き取り組んでもらいたい。